

財政健全化策を問う



質問者
小澤 啓司 議員

平成27年度の決算数値が確定しようとしている。歳出では、民生費や国民健康保険事業・介護保険事業の支出増加が顕著であり、一般会計を圧迫している。

一方、歳入では、ふるさと納税による寄附金が飛躍的に増えている。このことについて質問する。

(1) 高齢化と人口減少が進む中で、民生費関連の支出増加が著しく、一般会計からの繰出金も今までになく増えている。長期的な支出抑制について、どのような対策を持っているか。
(2) 平成27年度にふるさと納税制度を充実した結果、寄附金が大幅に増加

している。町税収入の伸びが期待できない中で貴重な収入源である。平成28年度以降、更なる増収を検討しているか。

A

支出抑制とふるさと納税の推進に努力する

回答（町長）

(1) 住み慣れた地域で生活を支えるという「地域包括ケアシステム」の構築が重要であり、足柄上管内1市5町が連携して、足柄上医師会や足柄上病院と協働して、在宅医療・介護連携支援セン

ターの開設を計画している。また、住民一人一人が健康づくりや定期検診等を受診すれば、健康寿命を延ばすことができ、支出抑制につながる。

これらの施策を推進する。(2) 松田ブランド商品などを利用した新たな返礼品や、パラグライダーや釣り体験など、松田町に来ていただくきっかけになる返礼品を取り揃える。また、受付窓口を2社体制とし、納税の機会が増えるよう取り組む。

松田山の松明灯火施設と周辺整備に対する支援を！



質問者
田代 実 議員

松田山々頂で六夜会の方

が、8月26日に松明を灯す伝統行事は足柄地域の風物詩となっております。昭和50年代からは、

「大名行列と百八ツ火（ひゃくはつて）」というタイトルでまつり観光まつりと合わせて開催されておりますが、六夜会の会員は減少傾向のため灯火作業が年々重労働に

なっています。

山頂は雑木等が茂っているため、眺望を確保するための伐採作業は危険が伴うものです。また、松明灯火施設は、経年劣化により補修を余儀なくされていますが、六夜会で財源を確保することは難しい状況にあります。

松田町の伝統行事を継承するために、松明灯火

A

六夜会と話し合い前向きに対応する！

回答（町長・教育長）

施設の補修と雑木等伐採の周辺整備は町の支援が必要ですが、町長の考えについて伺います。

だき対応していく。雑木等伐採などの周辺整備は、平成24年度に町が伐採委託料を予算計上し、承諾が得られた地権者の雑木伐採を行っている。眺望を確保するには、針葉樹も伐採しなければならぬ。しかし、私有地が大半のため地権者や六夜会の方と話し合い対応していきたい。

松明の灯火作業に伴う経費は、観光協会から支出されている。町としては、灯火施設の補修にかかる経費負担について、六夜会と相談させていた

町の姿勢としては、百八ツ火を始め文化財無指定の伝統行事等について、文化財保護委員会に指定されるよう語り、未来志向で総合的支援が可能となる体制づくりを推し進めていく。



六夜会による松明灯火施設周辺の整備 (H27.8.22/観光まつり当日)